学校番号	314

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	生活学Ｎａｖｉ　資料＋成分表２０２６　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な事象や課題をワークショップや演習を通して考え理解を深め、知識を身につけます。
　多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活を目指します。

２　学習の到達目標

実践的・体験的な学習を通して、家族と家庭の役割、生活に必要な衣・食・住・保育・消費等にかかわる知識や技術を習得するとともに、それらを活用し課題を解決するために工夫し創造できる能力と実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、解決策を構想するとともに、その実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を見通す	人生を展望する 目標を持って生きる	a:ワークシートなどを通して自分自身について考え、自分や人の一生について、その考えをまとめることができる。 b:人生の各ステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会や男女共同参画社会など変わりゆく現代の社会状況を踏まえながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などによりそれらについての考えを表現することができる。 c:現在の自分を知るとともに未来に向けた生活設計を考えることについて意欲を持ち、積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	人生をつくる	人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会	a:生涯発達の視点で青年期の課題について理解している。 b:家族を構成するそれぞれが協力して役割を果たし、家庭を築くことの重要性について、問題を見いだすとともに課題を設定し、その解決策を構築することで、課題を解決する力を身につけている。 c:様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について課題解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、生活を工夫するとともにその実践をしようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

2学期	子どもと共に育つ	命を育む 子どもの育つ力を知る 子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境	a:子どもの心身の発達や生活についての知識を身につけている b:子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境についての課題をみつけ、解決への考えをまとめることができる。 c:様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて子どもの生活と保育について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善するだけでなく、生活を工夫して創造し、実践しようとしている。	定期考査	提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	食生活をつくる	食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 食品の選択と安全 生涯の健康を見通した食事計画 調理の基礎 食生活の文化と知恵 これからの食生活	a:日本の食文化を知り、食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境などについて食生活の変遷と現代の食生活の課題を理解できる。 b:栄養素のはたらきを理解し、自身の食生活や現代の食生活の課題を発見し、その課題解決に向けての判断ができる。 c:食品と栄養、調理との関係において科学的な視点をもって知識を深めようとしている。	定期考査 調理実習	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 調理実習
	衣生活をつくる	被服の役割を考える 被服を入手する 被服を管理する 衣生活の文化と知恵 これからの衣生活	a:ライフステージや目的に応じた衣服の機能と着装について理解し、被服材料や性能と特徴・整理や管理について適切な判断ができる。 b:被服の機能性や快適性についての問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想・実践し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。 c:様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて衣生活と健康についての課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。	定期考査 実習作品	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 実習作品

	超高齢社会を共に生きる	超高齢化・大衆長寿社会の到来 高齢期の心身の特徴 これからの超高齢社会	a:高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 b:高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより高齢者の自立した生活とは何かを自分で考え、それをまとめることができる。 c:様々な人との協働により、よりよい社会の構築に向けて高齢期の生活と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。	定期考査	提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	共に生き、共に支える	私たちの生活と福祉 社会保障の考え方 共に生きる	a:生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について考える。 b:家庭や地域社会の一員として社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 c:生涯を通しての社会福祉・社会保障の仕組みについて、その課題解決に主体的に取り組み、振り返り、生活を工夫し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	経済生活を営む	情報の収集・比較と意思決定 購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任 生涯の経済生活を見通す これからの経済生活	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、契約についての知識を身につけている。 b:消費者として自覚を持ち、消費者の権利と責任について考えることができる。 c:よりよい社会の構築に向けて、生活における経済計画について、その課題解決に主体的に取り組み、振り返り改善し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

3学期	これからの生活を創造する	生活をデザインする	a:短期・長期の経済計画にかかわる自らの学びを通して経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b:将来のライフイベントとその費用について考えることができる。 c:将来の生活設計を考えることについて意欲をもって取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 住生活の文化と知恵 これからの住生活	a:ライフステージに応じた住生活の特徴や防犯などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 b:健康や安全面に配慮した住まいや室内環境の整備などについて考えを深め、まとめたりして発表したりしている。 c:住まいの健康や安全、防災や減災に関して理解しようとしている。	定期考査 実習作品	定期考査 提出プリント 実習作品	提出プリント 振り返りシート 実習作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度